

いなほ

ここは
IKパーソン
挑戦者たちの
劇場だ。

Contents

特集

新東京本社、始動!

特集

稲畑へようこそ!
新入社員紹介 2026

特集

稲畑フィリピン
自社倉庫の取り組み紹介

いなほカフェ

海外駐在員今昔 稲畑タイ編
どんな時も「なんとかなるさ」? 愛すべきタイ文化

No. **253**
April
2026

統合報告書クイズの解答を公開!

いなほ2026年1月号に掲載した「統合報告書クイズ」にはたくさんの方に挑戦いただきました。ありがとうございました。ここでは改めて解答をご案内いたします。(統合報告書制作プロジェクト)

Q1 当社グループの商社部門の人員は何名?(連結商社拠点・2025年3月末時点)

A 約2,000名(具体的には1,909名です)

Q2 「価値創造プロセス」では当社の独自の6つの強みが挙げられています。

以下5つの強みに続く、6つ目は何?

「持続的で安定した成長力」「ケミカル分野で高い専門性を持つ人材」「情報力とビジネス対応力」「ステークホルダーとの信頼関係」「強固な財務基盤」

A アジアの事業基盤
(海外ネットワークの中でも特に「アジアの事業基盤」を強みとして挙げています)

Q3 当社グループの連結対象の製造・加工子会社は全部で何社?(2025年3月末時点)

A 25社
(情報電子1社、化学品2社、生活産業3社、合成樹脂19社となっています)

Q4 社会課題解決の観点からも熱い視線が注がれる「環境配慮プラスチック」。当社グループの同ビジネスの売上はここ3年で何倍に成長している?

A 6.2倍
(2021年度 15.1億円→2024年度 93.41億円に成長しました)

Q5 2025年度カーボンニュートラル達成に向け、GHG排出量を2026年度に22年度比25%削減という目標を掲げています。2024年度のGHG排出量は非化石証書導入などの取り組みにより何%削減した?

A 12.9%
(2024年度は基準年の22年度比12.9%を削減。目標に向けて着実に進んでいます)

Q6 2025年3月に初めて実施されたサプライチェーン人権デュー・ディリジェンス(DD)の現地調査対象はどこ?

A ベトナム・エビ養殖/加工工場
(詳細は、いなほ2025年10月号でも掲載されています)

Q7 監査等委員でない取締役の報酬で、「業績連動報酬」の計算式に含まれないものはどれ?(エンゲージメントサーベイ達成率・株価・ROEのうち)

A エンゲージメントサーベイ達成率
(業績連動報酬の指標には含まれていませんが、株式給付信託(株式報酬)の指標に含まれています)

仕事に役立つ!

稲畑産業グループのサステナビリティ

— 新東京本社ビルとサステナブルファイナンス編 —

今年3月から本格稼働を開始した新東京本社ビルは、環境に配慮した設計を取り入れています。また、建替え資金の一部にはサステナブルファイナンスを活用し、持続可能な社会への取り組みを進めています。今回は、新本社ビルの環境配慮の工夫と、サステナブルファイナンスの概要についてご紹介します。(サステナビリティ推進部)

新東京本社ビルの環境配慮設計

新東京本社ビルではさまざまな省エネ性能を備えており、各種環境認証においても最高評価を取得しています。

省エネ性能

自然採光、自然換気	高断熱窓・外壁、日射遮蔽	高効率な空調、換気システム	高効率照明の採用

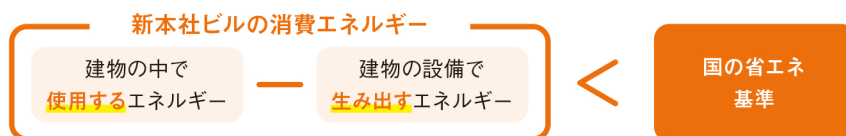


環境認証の取得

BELS 認証 エネルギー消費性能最高評価のレベル6を取得—ZEB Ready達成

BELS認証は、国交省によるガイドラインで第三者認証として認められている、**省エネルギー性能に特化した認証**。建物のエネルギー消費量が、国が定める省エネ基準と比較してどの程度削減できているのかという指標を用いて評価される。当社の指標は基準の50%。

また、省エネにより従来の建物より50%以上エネルギー消費量を削減したことにより「ZEB Ready」評価を達成。



ZEB (Net Zero Energy Building) のランクは4段階

ZEB	省エネ+創エネで0%以下まで削減
Nearly ZEB	省エネ+創エネで25%以下まで削減
ZEB Ready	省エネで50%以下まで削減
ZEB Oriented	延べ面積10,000㎡以上で、用途ごとに規定した削減量を達成+未評価技術導入によるさらなる省エネ

CASBEE-建築(新築) CASBEE-ウェルネスオフィス 最高評価のSランクを取得

CASBEE認証は国交省主導で開発された認証で、エネルギー性能だけでなく資源循環や室内環境なども含めた**総合的な環境性能を評価**する。環境負荷に対する環境品質の値に応じて5段階にランク分けされる。

CASBEE-建築(新築)は「建物そのものの環境性能評価」であり、CASBEE-ウェルネスオフィスは「建物を利用する人の健康・快適性の評価」である。

(参考) 環境省サイト「ZEB PORTAL-ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ゼブ)ポータル-」



今回の新東京本社ビルの建替えにあたっては、サステナブルファイナンスによる資金調達を行いました。続いては、サステナブルファイナンスについてご説明します。

サステナブルファイナンスによる建替え資金調達

当社では、中期経営計画「NC2026」の財務戦略の一つに、サステナブルファイナンスを含む「資金調達の多様化」を掲げています。2024年度にはその一環として、当社初となるグリーンローンの契約締結およびグリーンボンドの発行を行いました。

サステナブルファイナンスの基礎

Q サステナブルファイナンスって何?

A 環境・社会・ガバナンス(ESG)要素に配慮した企業やプロジェクトに資金を供給する仕組みのこと。企業が資金調達する際に、環境負荷の低減や社会課題の解決に向けた取り組みを示すことで、投資家や金融機関からより有利な条件で融資や投資を受けられる。国内外の市場は近年拡大傾向にある。

Q なぜ増えているの?

A 国際的な潮流として、金融市場でESG要素を無視できなくなっており、**投資家や金融機関はサステナビリティを重視する企業を評価する傾向が強まっている**ことが背景にある。また企業にとっても、資金調達の選択肢を広げ、ブランド価値を高める機会にもなっている。

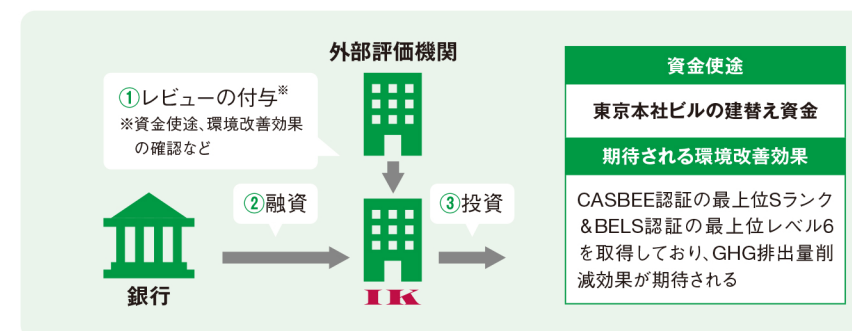
Q 具体的にどのような方法があるの?

A 企業のESG評価を重視した投資である「ESG投資」や、社会課題解決を目的とした「サステナビリティ・リンク・ローン」、環境関連プロジェクトに使うローンや債権である「グリーンローン」「グリーンボンド」などがある。

当社は以下二つの取り組みにより資金調達を行いました。

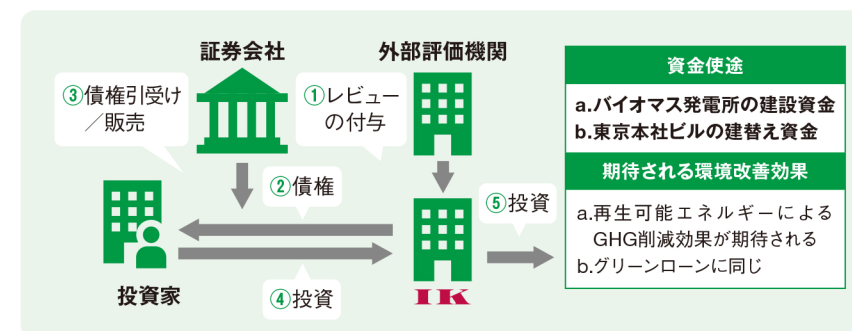
グリーンローン

- 金融機関からの**融資**による資金調達
- 資金使途が再生可能エネルギー、エネルギー効率改善、廃棄物削減など、環境改善に資するプロジェクトに限定される
- 当社の調達金額は10億円



グリーンボンド

- 企業や自治体などが発行する**債券**
- グリーンローン同様に、資金使途が環境関連プロジェクトに限定される
- 当社の調達金額は75億円



今回の環境に配慮した建替えや、環境関連ビジネスなどのIKグループの取り組みが金融面でも優遇されることにつながっています。今後も企業価値向上に向けてサステナビリティ活動を進めていきましょう!

サステナブルファイナンスについての詳細は[こちらから](#)
(社外サイト) [サステナビリティ](#)>[稲畑産業のサステナビリティ](#)>[サステナブルファイナンス](#)





11/13

第44回稲友会総会（大阪）開催

大阪市中央区のホテル日航大阪で、第44回稲友会総会が開催されました。稲友会会員134名に加え、稲畑社長をはじめ役員11名も参加し、総勢145名が一堂に会しました。会場は終始、和やかな雰囲気に入れ、参加者同士の交流も活発に行われました。



11/28~30

稲畑フランス「CPHI Frankfurt」に出展

稲畑フランスは、ドイツ・フランクフルトで開催された医薬品原材料の世界的な展示会「CPHI Frankfurt」に出展しました。本展示会には毎年出展しており、今回は稲畑フランスの子会社Pharmasynthèse（ファルマサンテーズ）で製造している製品、稲畑フランスの取り扱い製品のほか、稲畑ヨーロッパが取り扱うロキテクノ社の医薬品フィルターを展示しました。



12/8~12

ISO更新審査を経て認証更新

ISOの更新審査が行われました。審査は滞りなく行われISO 9001:2015（品質）およびISO14001:2015（環境）の認証は、無事更新されました。今回の重点審査項目は下記3点でした。

- ① デジタル戦略に関する活動状況
- ② 環境関連ビジネスの拡大状況
- ③ ビジネスを進めるうえでのリスクとして意識しているもの



12/15

稲畑フィリピン、フィリピン政府より最優秀物流企業として表彰

稲畑フィリピンは、フィリピン経済区庁（以下、通称：PEZA）から「TOP-Performing Logistics Service Enterprise（フィリピン最優秀物流企業）」を受賞しました。この賞は、PEZA設立30周年を記念して初めて実施されたもので、フィリピンの経済特区内で活動する物流企業300社の中から、稲畑フィリピンが最高得点を獲得し、第1位として表彰されました。



※詳細はp16『稲畑フィリピン 自社倉庫の取り組み紹介』を参照

12/23

新東京本社竣工式を開催

新東京本社4Fフロアにて竣工式が開催されました。工事関係者および建築主である当社から稲畑社長含む5名、計39名が参列し、新社屋完成を祝うとともに、今後の繁栄を祈願しました。



※詳細はp3「新東京本社、始動!」を参照

12/26

当社ウェブサイト、3社の評価機関から高評価を継続獲得

日興アイ・アール株式会社による「2025年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」および株式会社ブロードバンドセキュリティによる「Gomez IRサイトランキング2025」において、当社は継続して高評価を獲得しました。さらに、大和インベスター・リレーションズ株式会社が主催する「大和インターネットIR表彰2025」では、2024年に初めて入賞して以来、2年連続で高い評価を受けています。



1/14

稲畑ファインテック、淡路島で初のJブルークレジット®認証取得を発表

稲畑ファインテックは、津名漁業協同組合佐野支所とスタートアップ企業BLUABLE株式会社と連携し、「淡路島わかめブルーカーボン地域創生プロジェクト」を推進しています。この度、淡路島で初となるJブルークレジット®認証を取得しました。なお、稲畑産業グループとしてもブルーカーボンクレジット認証の取得は初めてとなります。



認証の概要

- 認証名：Jブルークレジット®
- 対象：わかめ養殖によるCO₂固定
- 認証期間：2022年5月1日～2025年4月30日
- 認証量：12.4 t-CO₂
- 特記事項：淡路島で初の認証取得

1/8~1/27

オンライン開催「野村IR資産運用フェア2026」に出展

当社は1月8日より20日間、オンラインで開催された「野村IR資産運用フェア2026」に出展しました。野村インベスター・リレーションズ株式会社が主催する個人投資家を対象としたIRフェアで、当社の出展は今回で12回目です。



1/27

カンボジア政府関係者が大阪本社を訪問ー投資環境をテーマに意見交換ー

カンボジア政府高官ら17名による研修団が、経済産業省のプログラムの一環として大阪本社を訪れました。本研修は、日本企業のカンボジア進出を促進する目的で、現地が抱える課題や最新の投資環境について意見交換を行う場として企画されたものです。今回来社された研修団には、カンボジア開発協議会をはじめ、商業省、税務局、環境省など、各省庁の幹部および実務担当者が参加しました。



中野常務よりクメール語で歓迎の挨拶



2/5

ESG投資指数FTSE Blossom Indexシリーズ構成銘柄に継続選定

当社はESGの観点から優れた企業として、FTSE Blossom Indexシリーズのうち下記2銘柄に継続選定されました。



FTSE JPX Blossom Japan Index



FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

ESG投資指数	選定数	選定年数
FTSE JPX Blossom Japan Index (旧 FTSE Blossom Japan Index)	410社	3年連続
FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index (旧 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index)	669社	4年連続



1F
エレベーター
ホール

旧東京本社外壁の
稲穂のレリーフが
一部利用
されています



北口側から見た
新東京本社



1F
エントランス



9F
ワールドテラス



上空写真
新社屋は
赤く囲った建物



9F
セッションルーム



地震の
揺れを抑える
免震装置



9F
Café Ikoi